

## オヒシバ (雄日芝)

名前の意味：メヒシバより姿が雄々しい日当たりに生える芝（イネ科植物）の意味。「オ」という言葉は、「メ」と対比して、姿が雄々しいものに使う。

分類：单子葉類、イネ科、オヒシバ属

（イネ科の栽培植物：イネ、コムギ、トウモロコシ）

好きな場所：日当たりのよい乾いた道ばた、空き地

分布：本州、四国、九州

原産地：昔から日本に生えていた（自生）

特徴：数本の針金のような細い花序の枝が斜め上に伸びる、小穂は笹かまぼこ状。

種子の運ばれかた：そのまま地面に落ちる

花弁の数：2枚（小さくて目で見てもよくわからない）、離弁（花びらが1枚ずつ散る）

花の時期：7—11月

食べ方：食べられるけれどもおいしくない

見分け方：メヒシバやアキメヒシバとは、花序の枝が平たくて幅が広いで区別できる。オヒシバの葉は、中央で二つ折りになっている。

見つけやすさ ★★

見分けやすさ ★★

総合難易度 ★★

（★★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い）